

令和6年度 静岡県統計功労者表彰式

デジタル戦略局 データ活用推進課

はじめに

静岡県では、統計の普及啓発及び実際の調査を担当する統計調査員の業務意識の高揚などを目的として、毎年、“静岡県統計功労者表彰式”を行っています。今年は、11月28日に静岡市の「しずぎんホール ユーフォニア」において開催しました。

表彰式は、統計調査員の方々や調査に御協力いただいた企業・団体等を表彰する第一部、統計グラフコンクールで受賞された児童生徒を表彰する第二部に分けて実施しました。

表彰される方々は、第一部第二部を通して参加され、若い世代やその保護者が調査員の業務を知るきっかけの場になるとともに、若者たちが自分たちの集めた統計データに親しむ姿に目を細める調査員たちの姿も見られるなど、世代を越えた普及啓発の場にもなっています。今回は、この“静岡県統計功労者表彰式”について、詳しくお伝えいたします。

I 静岡県統計功労者表彰

1 概要

今年度の表彰対象は以下のとおりです。静岡県及び静岡県統計協会の表彰者は、年に一度市町から推薦者を募り、選考会議において従事回数・年数等を総合的に勘案して決定しています。各省大臣の表彰者も、各省庁が基準に基づき決定しています。

表彰の名称	対象	主な推薦基準・目安等	表彰者数
静岡県統計功労表彰	統計調査員	・通算20年以上又は25回以上従事	10人
静岡県統計功労知事褒賞	統計調査員	・通算15年以上又は20回以上従事	20人
静岡県統計協会 統計功労者表彰	統計調査員	・通算5年以上従事 ・統計事務上、功績が顕著であると認められるもの	71人
	調査対象事業所		4事業所
各省大臣表彰 (総務省・農林水産省・厚生労働省)	統計調査員	・各省の定める基準による(調査の実施にあたり、顕著な功績のあった者)	17人
	調査対象事業所		15事業所
厚生労働省政策統括官表彰	統計調査員	・各省の定める基準による(調査の実施にあたり、顕著な功績のあった者)	2人



2 静岡県統計功労者表彰式の様子

(1) 表彰状の授与

総務省を代表して出席された永島統計局統計調査部長と、静岡県議会の落合議長からの御祝辞に続いて、各賞の授与が行われました。会場は功績が認められた皆様の、晴れ晴れしい姿と喜びの笑顔に包まれました。



<静岡県統計功労表彰の授与>



<静岡県統計功労表彰の授与>



<総務大臣表彰の授与>



<同じ賞を受賞する方々も呼名されます>

(2) 叙勲・褒章受章者の紹介

総務省及び経済産業省からの依頼を受け、叙勲・褒章それぞれ春季と秋季の2回推薦しています。今年度は、以下の方々が受章されました。

伝達は省庁ごとに行われ、その後皇居にて天皇皇后両陛下に拝謁します。静岡県統計功労者表彰式にも毎年来賓としてお招きし、統計調査員の最高の榮譽としての勲章・褒章を披露していただいています。

叙勲		氏名
令和6年春	瑞宝単光章	各種統計調査 安倍 房子 様
令和6年春	瑞宝単光章	各種統計調査 稲垣 ふなみ 様
令和6年春	瑞宝単光章	各種統計調査 寺田 明夫 様
令和6年春	瑞宝単光章	工業統計調査 落合 禮子 様
令和6年秋	瑞宝単光章	各種統計調査 平石 清子 様
令和6年秋	瑞宝単光章	工業統計調査 加賀 すず代 様

褒章		氏名
令和6年春 藍綬褒章	国勢調査	小林 弘世 様



<勲章・褒章を身に付けられています>



<先輩調査員としてアドバイスいただきました>

3 第72回全国統計大会の様子

毎年、総務省と公益財団法人統計情報研究開発センターが主催して、全国統計大会が実施されます。今年も、12月4日に国立オリンピック記念青少年総合センターで行われました。

全国の各省大臣表彰の受賞者のうち、代表者各1名は、この場で表彰されます。今年も、総務大臣表彰の代表者が静岡県から選出され、総務副大臣から表彰状を授与されました。また、全受賞者の代表として、謝辞を述べました。



II 静岡県統計グラフコンクール

1 概要

(1) 目的

静岡県・静岡県統計協会・静岡県教育研究会が主催し、今年度で72回目の開催となりました。県内の小・中学生などを対象に、日常生活の中で体験したことや観察したことなどを統計的に表現する技術を育成し、統計の正しい見方・考え方の普及啓発を図るために実施しています。

(2) 応募状況

今年度の応募点数は、表1のとおりです。また、近年の応募点数は表2のとおり推移しています。

表1：令和6年度の応募点数

募集区分	応募点数
第1部 小学1・2年生の手描きの部	121点
第2部 小学3・4年生の手描きの部	250点
第3部 小学5・6年生の手描きの部	251点
第4部 中学生の手描きの部	37点
第5部 小中学生のPCの部	84点
第6部 高校生以上の手描き・PCの部	2点
計	745点

表2：近年の応募点数の推移

年度	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
応募総数	1,219点 (全国7位)	701点 (全国11位)	803点 (全国8位)	704点 (全国9位)	745点 (全国8位)

(3) 審査のながれ

小・中学生などが主に夏休みを利用して取り組み、作成した作品が、学校や各市町の教育委員会等を経由して県の審査会に出品されます。審査会では、小中学校の教諭や教育関連団体の職員などが審査員を務め、一次・二次審査を経て、部門ごとに各賞が選定されます。



2 静岡県統計グラフコンクール表彰式の様子

(1) 表彰者

今年度の入賞作品数は、下表のとおりです。教育関係団体だけでなく、民間企業からも多数後援をいただき、各種の賞を設定しています。

賞の種類		入賞作品数
特別賞	静岡県知事賞	31点
	静岡県教育委員会教育長賞	
	静岡県統計協会会長賞	
	静岡県教育研究会会長賞	
	静岡県出版文化会理事長賞 静岡県教育会館理事長賞	
奨励賞	報道機関等協賛企業賞	7点
入選		6点
佳作		34点



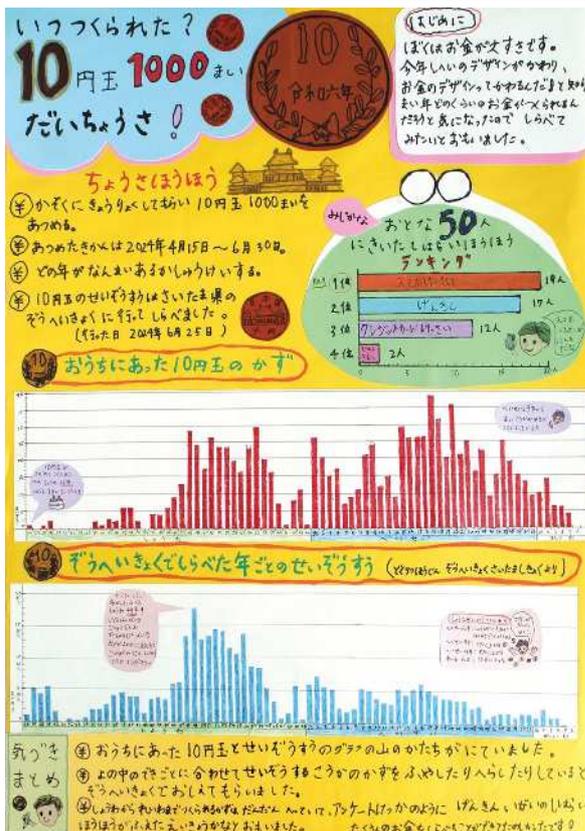
(2) 全体の講評

審査委員長の静岡県教育研究会美術教育研究部長・入口強志様からは、出品者全員に対して以下の講評をいただきました。

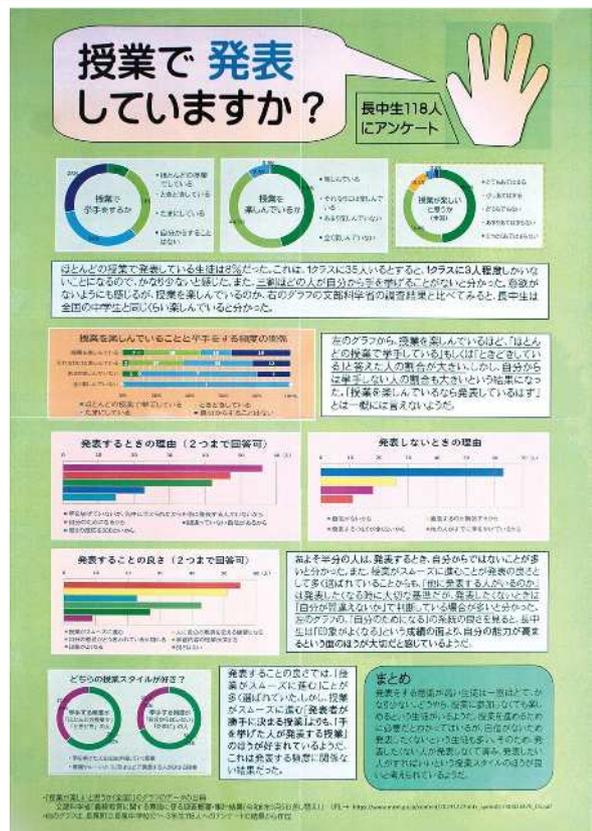
私たちの身の回りには、毎日いろいろな出来事が起こっています。それらを数値化して、比較したり変化に注目したりすることで、「なんとなく」感じていたことが「はっきり」見えてきます。そして、そこから更に新たな気づきやアイデアが生まれていきます。

それは、未来へ向かって生きる皆さんが最も付けたい力です。皆さんの作品からは、そのような力が強く感じられました。入賞作品は、特に、物事の捉え方や表し方が大変すぐれていました。

統計グラフは、ものの見え方がはっきりしたり、新たな発見があったりするの面白いところです。みなさんの作品はそんな面白さを、見る人にしっかり伝えてくれる、大変すばらしいものでした。みなさんの物事を見つめる目、そして優れた感性を、これからも磨いていってください。



< 第1部 静岡県知事賞 >



< 第5部 静岡県知事賞 >

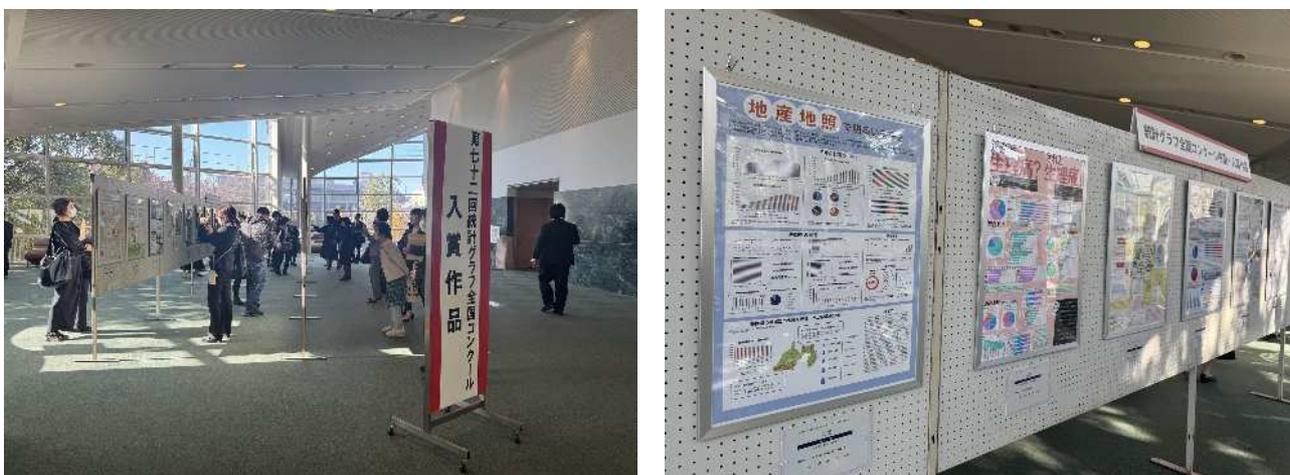
(3) 展示会の様子

表彰式が行われる「しずぎんホール ユーフォニア」のロビーに、入賞作品全点を展示しました。特別賞入賞作品の一部を利用して作成した2025年のカレンダーも無償配布され、人気を博していました。



3 全国統計大会の様子

静岡県統計グラフコンクール入賞作品の中から、27点を統計グラフ全国コンクールに出品した結果、2点が入選し、6点が佳作となりました。特選入賞者は、全国統計大会で表彰されます。特選及び入選者の作品は国立オリンピック記念青少年総合センターのロビーに展示され、全国から集まった統計関係者から賞賛を受けていました。



おわりに

静岡県統計功労者表彰式は、「地方統計大会」という位置付けで、地方統計大会は全国各都道府県で実施されています。統計関係者だけが参加するイベントではありますが、静岡県では統計グラフコンクールの表彰を同時に実施し、報道機関にも幅広く情報提供を行うなどして、広く県民の皆様等への普及啓発を図ろうと努めています。この記事が、そうした取り組みへの理解の一助となれば幸いです。

